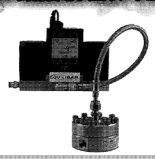
水素エネルギー業界向け

EQUILIBAR
PRECISION PRESSURE CONTROL

EPR 500 高精度電子圧力レギュレータ



背圧レギュレータ

様々な用途向けに空気または不活性ガスを制御するための高精度電子圧力レギュレータ(EPR)を幅広く提供。ドーム型背圧レギュレータおよび真空レギュレータのパイロット差弾圧力の制御に使用することが可能。

- 不活性ガスの静的用途から低流量用途向けに設計
- あらゆる非腐食性ガスに対応
- 精度 0.25% の非常に高い分解能
- デジタルまたはアナログ通信に対応
- キーパッドから直接制御
- 最大 500 psig までの圧力を制御可能

背圧レギュレータは堆一の可動部分としてフレキシブルダイヤフラムを採用し、摩擦のない安定した動作を実現。ドーム型マルチオリフィス設計は、最も複雑なアプリケーションに対して瞬時の制御と優れた精度を提供。

- 比類のない精度
- 非常に広い流量範囲能力
- 瞬時の応答性
- 摩擦のない制御
- 厳しい温度や化学薬品への適合性
- 液体と気体の二相流を一緒に処理する能力

日本スターテクノ株式会社
Japan Star Techno Co.,Ltd.
https://j-startechno.com/

2024 年 1 月 31 日(水)～2 月 2 日(金)開催する「IIFES2024」に出展します。

最新ニュース

銅メッキの添加剤として
DTDPSソーダ30%水溶液
(3,3'-ジチオビス（プロパンスルホン酸ソーダ）30%水溶液)

CAS番号 27206-35-5

●水溶液でハンドリング性に優れています
●150㎛フィルターを通過し夾雑物を除去

未来の一歩その先へ… 硫黄と共に旭化学　お問い合わせ
旭化学工業株式会社
〒532-0035 大阪府大阪市淀川区三津屋南 3 丁目 12 番 17 号
osaka_ho@chem-asahi.co.jp
http://www.co.jp

10月19日、20日に福井県産業会館で開催する「北陸技術交流テクノフェア 2023」に出展
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

PR

ひと カイシャ 交差点

顧客目線で取り組む研究者に

UBE三菱セメント
吉田 友香さん
品質保証部品質保証室

リケジョ neo

（1面から続く）尊敬する先生からの勧めで受験した横浜国立大学大学院工学府では、機能発現工学を専攻し、ゼオライト無機材料について研究しました。UBE三菱セメントを志望したのは、大学の先輩を通じてセメント業界を知ったことがきっかけでした。それまではラボで少量の生成物を作り、その反応を見るという、小さいことにこだわって取り組んできましたが、セメント工場を見学した際、その大規模さに衝撃を受けたことを覚えています。社会基盤となることに貢献したいという思いもありました。

1年目は工場、2―4年目は研究所の勤務を経て、現在は顧客に提出するセメントの試験成績表の作成を担当しています。数値の変動があった場合、本社の品質管理担当を通じて、工場にフィードバックすることもあります。大学時代に同じ無機材料を研究していたことから、分析機器や手法、データ解析方法は似ているところがあると感じます。

研究職はトライアンドエラーの繰り返しでしたが、試験成績表はミスが許されません。分からないことがあれば常に周囲に聞くこと、上司への相談・報告を意識して取り組んでいます。これまでは研究職として、セメントを製造する側の目線で仕事に取り組んできました。今は営業とも連携し、顧客と製造の双方の目線を持ち合わせて取り組めるようになりました。こうした考え方を生かし、ゆくゆくは製造現場や研究所に戻り、貢献できたらよいなと思っています。

趣味はリフレッシュできる旅行。一人旅や友人と一緒に、主に国内を巡っています。2022年、山口県に転勤になり、中国・四国地方を開拓できました。

（文＝狐塚真子、写真＝高山基成）

異見卓見

Jーオイルミルズ取締役
常務執行役員CTO
松本 英三

環境変化踏まえた対策を

官民一体で脱炭素

物価高騰と食料安全保障

国内安定供給の最適解

物価の高騰が続いている。日銀は過去からインフレ目標率を2%としているが、昨今の物価はこの水準を優に超えており、政府の発表数字よりも高いのではと感じるのは私だけではないはずだ。当社は植物油を主に扱う業界をリードしている会社であり、消費者には大変な負担だと思っている。数年前からの資材高を中心とした高騰に続き、電気・ガスそしてガソリンまで個人の生活を圧迫している。これは日本だけの問題ではなく、世界全体の現象である。これにはさまざまな要因が絡んでいるが、私が最重要視する点を述べる。

まず、気候変動である。この影響で現在オリーブオイルが高騰しており、日本の食卓にもオリーブオイルが普及し定着し始めた恩恵を受けていたこの状況である。当社も残念ながら値上げをせざるをえない状況である。これは世界最大のオリーブの生産国であるスペインの大干ばつが原因で、22年から千ばつに見舞われる地中海であるが、23年も雨が降らずスペインのオリーブの収穫量が半減する見込みで大不作が予想されている。これによる価格バランスが大きく乱れたところがあるが、物価高は継続だというのが実感だろう。

気候変動の影響と危機

オリーブオイルが高騰している。影響は24年の収穫まで続くものであり、干ばつ継続すると食卓からオリーブオイルが消えるかもしれない。そのくらいの危機感を持っている。

この気候変動による植物油の高騰は2年前から起こっている。21年のキャノーラ油の値上げもその一つ。世界最大の穀種の輸出国であるカナダで夏の高温が響き生産量が大幅に減少した。具体的には約2000万トンの穀種を生産するカナダであるが、この年は1300万トン程度であった。日本の輸入量は200万トン強であるから、この干ばつによる影響は甚大で、歴史的な値上げになったのは記憶の通りである。

オリーブオイルが高騰している。影響は24年の収穫まで続くものであり、干ばつ継続すると食卓からオリーブオイルが消えるかもしれない。そのくらいの危機感を持っている。

この気候変動による植物油の高騰は2年前から起こっている。21年のキャノーラ油の値上げもその一つ。世界最大の穀種の輸出国であるカナダで夏の高温が響き生産量が大幅に減少した。具体的には約2000万トンの穀種を生産するカナダであるが、この年は1300万トン程度であった。日本の輸入量は200万トン強であるから、この干ばつによる影響は甚大で、歴史的な値上げになったのは記憶の通りである。

まつもと・あきひろ　88年（昭63）、東北大修士修了、同年味の素入社、研究所、工場、海外、本社勤務を経て15年内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官（ムーンショット型研究開発制度担当）、17年オイルミルズ取締役常務執行役員、20年から現職。兵庫県出身、62歳。

まず、気候変動である。この影響で現在オリーブオイルが高騰しており、日本の食卓にもオリーブオイルが普及し定着し始めた恩恵を受けていたこの状況である。当社も残念ながら値上げをせざるをえない状況である。これは世界最大のオリーブの生産国であるスペインの大干ばつが原因で、22年から千ばつに見舞われる地中海であるが、23年も雨が降らずスペインのオリーブの収穫量が半減する見込みで大不作が予想されている。これによる価格バランスが大きく乱れたところがあるが、物価高は継続だというのが実感だろう。

官民一体で脱炭素

この気候変動（の対策については、21年10月に締約国会議（COP）26が英グラスゴーで開催され、1・5度に抑えに向かって世界が努力することで正式に合意。それに先だち同年4月には政府が50年カーボンニュートラルの実現に向け、30年度に13年度比で温室効果ガス（GHG）を46%削減する目標を表明した。我々食関連企業もこの目標を達成すべく様々な取り組みを進めている。

また、21年にはコーポレートガバナンス・コード（CGコード）が改訂され、環境・社会・企業統治（ESG）・サステナビリティーに関する取り組みやCGコードの開示と実務対応、情報開示が規定され、特にプライム市場上場会社については、気候変動に係るリスクおよび収益等に与える影響を、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）など、または同等の枠組みに基づいて開示の質・量を充実させることが求められている。

加えて23年度から有価証券報告書にTCFD提言に沿った開示が実質義務化されており各社対応（しん）に対応していると。とはいえ、このカーボンニュートラルの取り組みは官民一体となって行うべき課題であると同時に、スコープ3や炭素税などを考えると、国際的な企業間、国家間での取り組むべき課題というのではないだろうか。スコープ3については個々の企業ではコントロールできないところがあるため、スコープ3については国際的な枠組みの構築が必要である。

（次回は日本ＩＢＭ執行役員の川上陽子さんです）

日本で開かれた2019年のラグビーワールドカップで使われたメダルテーブルも製作した

龍工房（東京都中央区）

靴にペンに組紐 変幻自在

龍一房（東京都中央区、福田隆社長）は、創業1-3-4年の組紐（くみひも）屋。約300種類の組み方で多様な組紐を製造する。創業時から続く着物の帯締め向けの販売、近年は海外高級ブランドや大手機メーカーからの引き合いもあり、異業種とのコラボレーションに積極的だ。福田隆社長は「新しいことに挑戦したい」と意気込む。

1888年に家具として小田原城（神奈川県小田原市）近くで創業、福田社長の父が1963年に東京都中央区に龍工房を設立した。

産業の衰退を危惧した先代社長は、製造から販売にも注力し行ってメーカーに留まらずスタートした。

近年は積極的にとまらず、さまざまな分野と組織の場が広がっている。メタルアーツもその一つ。19年に日本で開かれたラグビーワールドカップでは、3位までの選手に授与される各メダルのテープを作った。

福田社長は「大会開催前と開催期間中に需要が重なった」と当時の苦労を語る。海外高級ブランド店の店内装飾や、世界的歌手のレディー・ガガの靴にも使われている。

他分野への進出は10年前に福田社長の息子の隆太氏が提案。福田社長は「猛反対した」と振り返る。帯締めの作りの周囲が長く、新規参入に不利だったため。一方で商部を組織にした「くみひもをもっと見せて、欲しい」と意見をもらい、徐々に心変わり。「江戸の〝粋〟を感じた。今は若い世代にも伝えたい」（同）という。

現在は国内最初のPEEKも取り組む。中央区立木橋小学校（東京都中央区）の3年生約100人に靴ひもの染色まで教えており、「わくわくする未来を作りたい」（同）。とどまるだけだが、組紐が時代とともに変わるなど。

不変と革新
～長寿経営に向けて～
事業をつなぐ